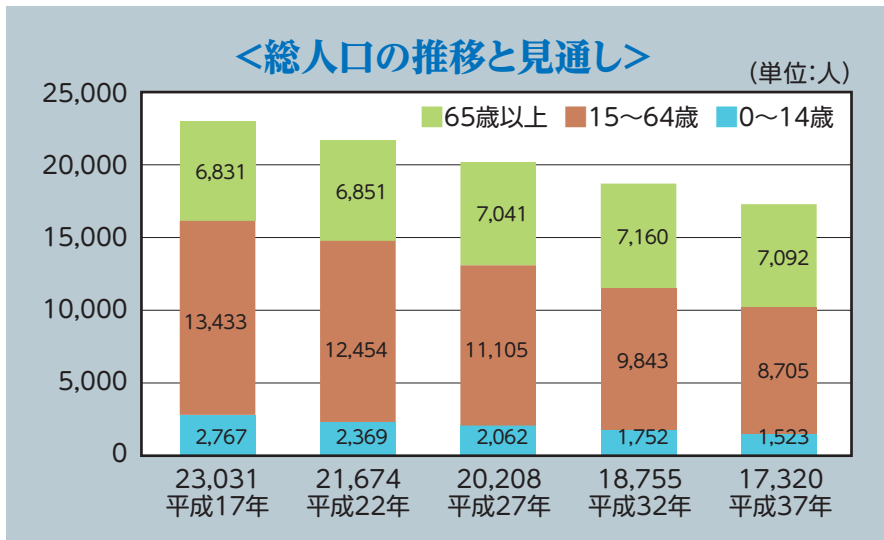


まちづくりの長期的な指針となる

「第2次美郷町総合計画」(平成27年度～平成33年度)を策定しました

町 ではこのたび、まちづくりの長期的な指針となる「第2次美郷町総合計画」(以下「第2次計画」という。)を策定しました。

計画の期間は、平成27年度から平成33年度までの7年間で、まちづくりの長期的な指針となる「基本構想」と、基本構想に基づきまちづくりの計画で主要事業を示す「行動計画」の2編で構成しています。



策定の趣旨

町では新町発足以降、平成17年度に策定した「美郷町総合計画」(目標年度…26年度)に基づき、各般の取り組みを計画的に進めてきました。

しかし、本町を取り巻く社会経済情勢の変化など社会的背景を見据え、複雑かつ多様化する行政課題を的確に把握したまちづくりを推進していく必要があることから、平成27年度以降の計画を策定しました。

計画の目標

平成22年の国勢調査による本町の人口は21,674人で、平成17年の国勢調査からの5年間で1,364人減少(減少率5.9%)し、その後も漸減(ぜんげん)しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計(平成25年3月)によると、本町の将来人口は、平成32年には18,755人、平成37年には17,320人になるとされています。

町では、第2次計画の着実な推進により、平成33年度末の総人口の目標を19,000人としています。

まちづくりの将来像

いやしの郷・にぎわいの郷 豊かさを実感できるまち 美郷

みんなで さっとずつ もっと いい 町へ

まちづくりの基本理念

豊か

快適

交流

活力

- 目標8 協働ですすむ
安定した行政経営のまち
- 目標7 共助がねづく
快適で安全・安心に暮らせるまち
- 目標6 活力がうまれる
活力と働くよろこびが満ちるまち
- 目標5 人がふれあう
交流でにぎわいと笑顔あふれるまち
- 目標4 喜びがひろがる
豊かで活力を生む育むまち
- 目標3 心身がやすらぐ
豊かな心で健やかに過ごせるまち
- 目標2 自然がかがやく
豊かな環境が広がるまち
- 目標1 生活がうるおう
快適さを実感できるまち

第2次美郷町総合計画の体系図

第2次計画では、まちづくりの将来像を実現させるために「4つの基本理念」と「8つの目標」を掲げ、各般の施策を実施します。

まちづくりリーディングプロジェクト

第2次計画の中でも、「4つの基本理念」の実現をより一層推進するため、特に先導的かつ重点的に取り組む施策を「みさとリーディングプロジェクト」として位置付けます。

「環境保全」と「福祉向上」で、豊かさ実感できるまち

豊か



豊かさ実感プロジェクト

- 水環境保全・保護の推進
- ごみの減量化と再資源化の推進
- セルフケアの推進
- 在宅高齢者支援の向上

「生活基盤整備」と「安全安心確保」で、快適に暮らせるまち

快適



快適実感プロジェクト

- 生活圏道路の整備充実
- 安全で安定した水の供給の推進
- 町営住宅施策の推進
- 防災対策の推進
- 空き家対策の強化

「ひとづくり」と「モノづくり」で、活力が生まれるまち

活力



活力創出プロジェクト

- ふるさと教育・キャリア教育の充実
- 国際教育の推進
- こだわりの生産環境の創出
- 地販地消・地産外商の推進
- 起業支援の推進

「ひとの集い」と「ひとのふれあい」で、人がつながるまち

交流



交流促進プロジェクト

- 滞在型観光の推進
- 友好・民間交流の推進
- 都市農村交流の推進
- 多様な定住の推進
- 文化財保存・啓発の推進